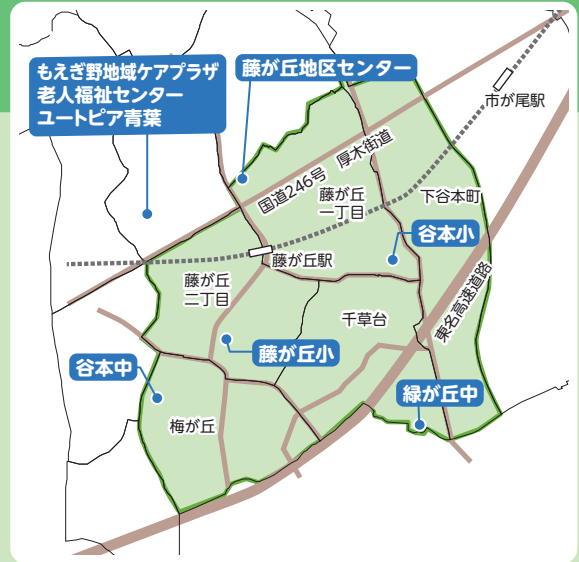


# 谷本地区

谷本地区は、エリアの北部に田園都市線「藤が丘駅」と国道246号線が東西に走り、東名高速道路「横浜青葉インター」があるなど、主要な交通手段が身近に存在しています。各自治会町内会で防災訓練を積極的に行い、「大丈夫手ぬぐい」の普及啓発をしています。また、身近な地域で新たなつながりができるように高齢者サロンや子育てサロンを実施しています。各世代に合わせた情報発信にも力を入れています。



地区内の町丁目 梅が丘、下谷本町、千草台、藤が丘一丁目、藤が丘二丁目

## 第4期計画の振り返り

- コロナによって人との交流がなくなったことにより、つながりの大切さを感じた。
- 高齢者の方も地域のイベントに参加しやすいように、体育祭で敬老席を設置した。
- ちょっとひと休みができる「みんなの椅子」を設置し、『優しいまちづくり』を進めることができた。
- 定期的に福祉教育を開催し、福祉に関する理解・啓発が進んだ。
- いざという時のために、あいさつなどの近所づきあいや、「大丈夫手ぬぐい」の活用などを進めていきたい。



## 推進会議の主なメンバー

連合自治会、単位自治会町内会、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、保健活動推進員、老人クラブ、連合子ども会

担当地域ケアプラザ：もえぎ野地域ケアプラザ

## 地域で行われている活動



みんなの椅子



連合体育祭



中学校での福祉教育

## めざしたいまちの姿

# 誰もが地域のつながりを深め、 お互いに助け合える優しいまち

## 目標1 つながるきっかけを増やしていこう!

## 取組

- 地域行事や、ボランティア活動に中学生や若い世代が積極的に参加できるように、呼びかけていこう
- 転入者や子育て世帯に声かけをしながら、つながりのきっかけを作っていこう
- 様々な世代の人たちに関心をもってもらえるように、子ども向けの内容も充実させた広報紙の発行を通じて、情報発信を進めていこう
- 「三世代交流」の場として連合体育祭に敬老席を設け、地域のつながりを広げていこう
- 「地域であったらあいさつをしよう」という気持ちを大切に、日頃から各自できる範囲での「あいさつ運動」を続けていこう

## 目標2 見守り・付き合いを一歩進めていこう!

## 取組

- 引き続き「みんなの椅子」の設置を進めていこう
- 地域活動(夏祭り・防災訓練・清掃活動等)を通して、住民や団体同士の横のつながりづくりを進めていこう
- サロンでの体操、歌、ゲーム等の活動を通じて、心と身体の健康づくりに取り組んでいこう
- 商店会やスーパー、コンビニ等との連携を図り、地域とのつながりを深めていこう
- 認知症の人や障がい児・者が暮らしやすい地域にするために、交流の機会や、福祉教育を通じて理解啓発をしていこう
- 子ども、高齢者、障がい児・者、外国籍の方等への見守りの輪を広げていこう

## 目標3 災害時に誰もが安全に避難できるように協力し合っていこう!

## 取組

- 地震・水害・火災が起きた際の避難方法等を周知していこう
- 高齢者や障がい児・者、乳幼児などの要援護者が安全に避難できるように日頃から、サロンやランチ会等、各種事業を通じて情報発信をしていこう
- 安否確認の取組である「大丈夫手ぬぐい」(手ぬぐい・マグネット)の掲出を含む、防災訓練を定期的に行っていこう